



# シュンデンタルタイムズ 02

2021

## 今の特集 マイクロスコープを知ろう！

2019.11発行 No.010特集「根管治療のはなし」の中でもマイクロスコープに触れたことがあります。今回はよりわかりやすく皆さんにお伝えしたいと思います。



バックナンバーはこちらから

### なぜマイクロスコープが必要な？

従来の歯科治療は主に肉眼により行われていたため、肉眼では見えないような小さなむし歯や歯根の病変を取り残してしまったり、あるいは逆に健康な歯の部位を大きく削りすぎてしまうことがありました。

そこで我々が使用しているのが**歯科用顕微鏡(マイクロスコープ)**による治療技術です。

これは脳外科などで培われていたマイクロスコープの技術を歯科にも応用し、高倍率で歯や歯茎を見ながらより高い精度の治療を行なうものです。

この治療法により、選択的に**むし歯や歯茎、歯の根の病変を取り除くことができ、さらに拡大視野により精度の高い詰め物や被せの歯を装着することが可能**となりました。

**より精密に、そして、歯と歯茎にも優しい最先端の歯科治療がこの歯科用顕微鏡治療**です。

シュンデンタルクリニックでは**カメラブランドとしても評価の高いLeica社製の歯科用マイクロスコープ(ドイツ, Leica M320)**を追加し、**合計4台の歯科用マイクロスコープ**を用いて、さらなる**「良質な治療」**を患者さんに提供できるよう治療に取り組んでおります。



## マイクロスコープを使った治療

### 1. コンポジットレジン修復

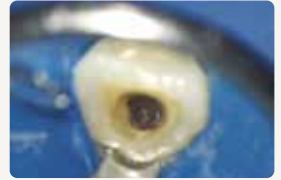
初期から中期のむし歯に対して行う治療で、プラスチックの詰めもので歯を修復する治療です。

健康な歯質を残しつつむし歯を取り切ること、適合性と審美性を兼ね備えた治療になります。



### 2. 根管治療

根管の中は肉眼で細部まで見る事が出来ません。一般的にはレントゲンを見ながら“経験と勘”を頼りに治療を進めていきます。マイクロスコープを使用すると、根管を詳細に観察することが出来るため、感染源を細部まで治療することが可能になります。結果的に治療の成功率は飛躍的に上がり、歯を長きに渡り守ることが出来ます。



### 3. 歯周治療

歯周病は歯の周りに細菌が感染し、歯周ポケットという溝をつくりながら歯を支える骨を徐々に溶かしていく病気です。歯周病菌がつくる“バイオフィルム”という頑固な膜をいかに除去するかが再発を防ぐ鍵となります。マイクロスコープを用いて治療することで、歯周ポケットに的確に器具を入れることが出来ると同時に、肉眼では見えなかった感染源までも除去することが可能になります。



### 4. 予防治療

マイクロスコープは歯科医師だけが使用するわけではありません。歯科衛生士がメンテナンスの際に使用することもあります。歯周ポケットの中まで詳細に確認することが出来るため、肉眼よりもさらに的確にプラークを除去することが可能になります。また、新たなむし歯等の発見も可能になるため、口腔内を守る立場の歯科衛生士が使うメリットは非常に大きいのです。



## シュンデンタルクリニック

〒041-0802 北海道函館市石川町 461-38 TEL 0138-47-3737

<http://shundc.jp/>